

3950

ザ・パック

ザ・パック株式会社



取締役管理本部長 藤井 道久 氏



～企画・開発から生産・納品・物流までトータルプロデュース～

総合パッケージメーカー

- **ザ・パックとは**
 - ・当社は紙袋、紙器、段ボール、化成品と多種多様な素材・形式・加工を扱う総合パッケージメーカーです。
- **沿革**
 - ・1878年(明治11年)に「箱小三」の社名で大阪市で火鉢や掛け軸を入れる高級桐製箱を作る会社として創業。
 - ・1952年(昭和27年)段ボール製衣装箱を開発し、「日本ケース株式会社(旧社名)」を設立。
 - ・1983年(昭和58年)に社名を「ザ・パック株式会社」へ変更。その後、ラインアップを広げ、紙袋、紙器、段ボール、化成品を主力とする総合パッケージメーカーへと成長しました。

ザ・パックの強み・特徴(2)

- **ITを駆使した顧客とのネットワークシステム**
 - ・お客様とオンライン接続し、包装品・事務用品等の在庫管理から、納品・予算管理までを一括で請け負っています。
- **メーカー向けの売上拡大**
 - ・当社の売上は小売業向けが主ですが、近年は食品メーカー向け保護材等、メーカー向け売上が増えています。2016年度のメーカー向け売上の構成比は33.2%となりました。
- **東日本での売上拡大**
 - ・現在の売上比率は、西日本が41%、東日本が59%となっています。商圏規模から考えると東日本ではまだシェアアップの余地があります。

ザ・パックの強み・特徴(1)

- **製販物一貫体制**
 - ・紙袋、紙器、段ボール、印刷、化成品とそれぞれに特化した当社グループの工場を有し、立地も関東、中部、関西、九州と分散したサプライチェーンを確立しています。
 - ・全国各地の顧客へ直接販売しています。
- **強い提案力**
 - ・東京と大阪に包装資料館があり、自社で商品企画・設計・デザインを行っています。
 - ・このような自社内ノウハウを元に提案営業を行い、顧客ニーズに対応した情報、サービス、製品を提供しています。
- **幅広い顧客層**
 - ・取引社数は約14,000社に上ります。顧客の業種は小売業、ファーストフード、メーカー、通販と様々で、特定の業種不況による影響は比較的少なめに抑えられています。

中期経営計画・株主還元

- **2017年12月期第二四半期業績**
 - ・売上は前年同期比1.0%増の417億円、営業利益は同20.9%増の30.5億円、経常利益は同18.0%増の32.1億円を達成しました。
- **中期経営計画**
 - ・2018年12月期に売上1,000億円、経常利益100億円、自己資本比率70%の達成を目指しています。
 - ・具体的には、東日本を中心とする市場シェア拡大、コスメ・医薬品市場、インバウンド需要への取組み強化、従業員一人当たりの生産性向上、人材育成、などです。
- **株主還元**
 - ・2017年12月期は50円の配当を予定しています。安定的な配当の支払いが当社の基本方針です。
 - ・また、100株以上の株主様には優待品をお贈りしています。